

第4次里庄町振興計画（後期基本計画）【素案】に対する意見募集の実施結果について

基本施策 3-4 防犯対策、交通安全対策、消費者問題対策等の充実

番号	ご意見	町の考え方	関係課
1	現住所で2007年に空き巣被害に合った。（玉島警察署、被害届、提出済み） 闇バイトなど凶悪強盗犯罪の激増、高齢化の進展によりこのまま住み続けることに大きな不安がある。 将来ともに「里庄町に住んでよかった」と思えるよう、是非、さらなる防犯カメラの設置、きちんと予算化した専任の防犯パトロールの実施など一層、有効な対策を講じて欲しい。	計画のP107～109に記載しているとおり、防犯カメラの増設と既存カメラの更新を検討しており、地域ボランティア主体の見守り活動と併せた防犯対策に努めます。 昼夜問わず、町民の方がより安心して生活できる環境を整え、不審者等が行動しにくい環境を創り、犯罪の抑止力を高め、防犯に強いまちづくりを進めてまいります。	企画商工課

基本施策 3-4 防犯対策、交通安全対策、消費者問題対策等の充実

番号	ご意見	町の考え方	関係課
2	高齢化社会の到来は、電動車椅子や移動用小型車の通行空間を確保、新設していく交通政策を必要としている。 ところが町道里見229号線・里見716号線等の道路整備は、自動車の利便性を向上させたが、信号機などの撤去決定により歩行者、車椅子、自転車の安全安心な通行空間を奪うことになった。 一面的な利便性や交通安全意識ばかりを強調することなく、交通法規や道路構造令、通行規制基準などに沿った、少子高齢化社会に備えた交通政策と道路整備を総合的に実施するため、交通安全対策基	通学路や不特定多数の歩行者が通行する道路について、歩道の確保や拡幅、交通安全施設の整備、バリアフリー化などを進めており、計画のP107～109に記載しているとおり、各世代の交通安全意識の普及啓発活動に努める等、町、警察、学校、地域、企業などと連携して地域の安全性の確保に努めてまいります。	企画商工課 農林建設課

番号	ご意見	町の考え方	関係課
	本法に基づき里庄町交通安全対策会議を設置し、各分野からの意見を交通政策に反映する。 自転車、車椅子などの乗車体験による道路調査、実体験型の交通安全対策を実施し、何よりも、町民の安全安心を第一に持続可能な交通社会の実現と、将来の交通社会を担う子供たちに交通社会の一員としての入り口である自転車の通行空間が確保され、交通機関の一翼として認識されるようにする。 直近の交通法規の改正や、中央交通安全対策協議会の決定はこうした傾向にあり、本町においても見守りや掛け声だけではなく実践的な交通指導が行える組織づくりを課題とするべきである。交通事故に遭わない、起こさないだけでなく、起こさせないための対策を人・道・車の面から相同的に研究、検討していくことが必要である。		